

神戸再生フォーラム 御中

2017年10月10日

神戸市長候補者 松田たかひこ

## 質問状に対する回答

貴団体から寄せられた「質問状」に、以下のとおり回答いたします。よろしくお願いたします。

### 1、「神戸空港をどうするか」について

3点で具体的なお質問があげられていますが、まとめて私の政策・見解をお答えします。ご了解ください。

運営権売却は、ご指摘のとおり、「債務解消の見通しが立たなくなった」ためだと考えます。神戸市は、3空港一体運営によって改善がはかれるかの幻想をふりまいていますが、あまりにも甘い考えであり、運営権売却の不当性を糊塗するものです。

市民が大震災で苦しんでいるさなか、神戸市市長の神戸空港建設宣言にたいして、30万人をこえる市民が「空港より住宅を」と住民投票を求め、ムダ遣いを批判してきました。空港の運営費赤字、進まない空港島の土地売却、建設費の負債など、市民の意見を無視して強行した神戸市政の大失政であったことを立証しています。

負債を神戸市負担とする運営権売却は直ちに見直します。住民合意の出発点に立ち戻り、今後の在り方は住民投票で問い、廃港も選択肢とする市民負担を増やさない方策を優先して検討します。

### 2、「新長田南地区復興再開発の現状と問題点」について

ご指摘のように、高層ビルの建設など「震災復興」の名の大規模な再開発の結果は、「”シャッター”通り状態」です。再開発で追い出され、廃業、赤字経営など、住民の現実には新長田再開発の失敗を示しています。神戸空港の建設とともに神戸市政の二大失政といえるものです。

ところが、現市長は、「震災復興は終わった」として三宮一極集中の巨大開発をすすめる、新長田への県・市合同庁舎の建設で活性化対策をすすめるように言っていますが、とんでもないことです。

私は、ケミカルなど長田の地場産業・商店・住民への直接・個店支援で地域の再生と雇用を創出する活性化対策をすすめます。

### 3、「三宮再整備（開発）の問題点」について

5項目にわたるご質問・提案がありますが、個々への回答形式でなく、まとめて私の政策・見解をお答えさせていただきます。ご了解ください。貴会の政策・「神戸再生プログラム」を拝見しますと、神戸市の計画に対する具体的対案なども示されており、研究・検討には傾聴すべきものもあり敬意を表しますが、私は神戸市の計画そのものをいったん中止すべきだ、との立場だからです。

現市長の①三宮駅前の巨大バスターミナルを伴う高層ビル建設、②市役所2・3号館の高層ビル建設、③ウォーターフロント地区再開発という巨大再開発計画は、需要予測もないまま膨大な商業床を増やし既存の商業を圧迫するだけでなく、安倍政権が「アベノミクス」ですすめる政策に対応する大企業の儲けを保障し、大企業・外資系企業よびこみを進めようとするもので、市民の暮らしの向上、神戸と地域経済の真の活性化にも逆行するものです。

私は、三宮巨大再開発に巨額の税金を使うことはムダ遣いであり、中止し、税金は市民の暮らし・福祉・教育優先に使うように改めます。三宮は今の商業を大切にしつつ、バリアフリーの改善などを進めます。三宮一極集中でなく、9つの行政区のバランスのとれた地域と経済の活性化をすすめ、神戸全体の景気底上げによって都心部も発展する施策をすすめます。

### 4、「新しい公共を担う市民社会構築の視点」について

神戸市は、住民の意見を聞かず、無視して神戸空港の建設を強行しました。現市政は、「市民参画」をかかげておきながら、議会の場で「神戸の発展方向や市民福祉の考え方に根本的に違いがある方々の意見は別にして、政策形成をしていく。その上で、スピーディーな政策展開に意を用いていきたい」などと答弁したように、行政に賛同・追従する団体・個人の意見は聞くが、そうでない市民・団体の意見は聞こうとしない立場です。政務活動費の不正を働いた自民党に甘く、子どもの医療費無料化の公約投げ捨て、裁判で無理やり借り上げ住宅から入居者を追い出すなどその典型です。

5・3憲法集会にたいする神戸市及び教育委員会の後援を、打ち切ってしまったことにも表れています。三宮一極集中の再開発を強引に推進しながら、約3000店舗が営業する神戸を代表するモトコー（元町高架下商店街）の「存続してほしい」という要望には、JRとの契約当事者の一人でありながら、「権利関係は行政として意見しにくい」として、真剣な対応をしないことにも表れています。

私は、神戸市の重要な事業計画については、事業の計画段階からの市民参画を貫くなど、市民の意見をしっかり市政運営に生かします。「ボランティア

が生き生き活動できる環境整備」の提案には賛成です。必要な助成制度をつくることをふめて取り組みます。

#### 5、「人権や多様性が響きあうまちへ」について

神戸には、韓国・朝鮮人はじめ多くの外国人が住み、住民税を払いながらともに生活しています。差別はもちろん、ヘイトスピーチは断じて許されません。国会で成立した「ヘイトスピーチ解消法」では、付帯決議で「ヘイトスピーチが地域社会に深刻な亀裂を生じさせている地方自治体は、国と同様、その解消に向けた施策を着実に実施する」としています。

ご提案の「ヘイトスピーチ解消や人種差別の是正に向けた条例」は議会でも超党派で議論が進められていますが、必要であり、制定に取り組みます。

#### 6、「借り上げ住宅からの強制退去問題」について

県と神戸市の対応には違いがあります。県は、医師や弁護士などで構成される「判定委員会」に可否判断をゆだね、入居者の健康状態や、コミュニティを配慮して75歳未満の入居者の継続入居を認めるなど、話し合い解決の道を残しています。

ところが、神戸市は、1級の重度障害者、要介護3以上の入居者以外は、すべて85歳以上でなければ絶対に継続入居を認めないかたくなな態度をとり続けています。しかも、神戸市が裁判所に明け渡しと損害賠償を求めて提訴している入居者は、すべて高齢と病弱、貧困にあえぐ入居者ばかりです。こんな被災者を、裁判にかけて、終の棲家から追い出すなどもってのほかです。

私は、裁判を直ちにやめることはもちろん、継続入居を希望する入居者には無条件で継続入居を認める措置をとります。

#### 7、「ポートアイランド・港島関連団体への不明朗補助金問題」について

市政の立場から見た場合、最大の問題は、2年前に幹部職員から改善要求を副市長が対処せず、隠蔽し、それが発覚したいまも現市長が「問題なし」としたことです。

私は、不当要求には毅然と対処し、市内外からの指摘に誠実に対応する市政改革を実行し、清潔・公正な市政を実現します。

以上